

事業所評価

事業所名：児童発達支援センターくもれ

平成31年度32人(回収率100%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保しているか	19	12	1		一部活動によっては狭いクラスがある。
	②	職員の配置数や専門性は適切か	12	15	4	1	個別対応児が多いたるクラスは職員数不足。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境にしているか。また、障害の特性に応じ事業所の設備等のバリアフリー化や情報伝達等への配慮をしているか	16	13	2	1	構造化は職員間で認識を統一する必要がある。
	④	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境にしているか。また、子ども達の活動に合わせた空間にしているか	19	11	1	1	
適切な支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画を作成しているか	21	10		1	客観的分析力不足者もいる。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	21	8		3	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行っているか	20	8		4	季節や興味に合った展開が必要で、キャップの力量に任せずOJTが必要。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	23	6		3	
保護者への 説明等	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会をもっているか	17	10	1	4	交流はしているものの相互のメリットのある交流となっていない。まだ道半ばである。
	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明をしているか	16	8	1	7	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明をしているか	18	5		9	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行っているか	25	4		3	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をしているか	24	6		2	意識して実施しているが保護者が十分かは不明
	⑭	定期的に保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援を行っているか	28	2		2	
	⑮	父母の会活動の支援や保護者会等の開催等により保護者同士の連携を支援しているか	18	8		6	父親の参加が敷くない。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについての対応体制が整備され、子どもや保護者に周知・説明し、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応しているか	23	9			
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	20	10		2	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に発信しているか	25	4		3	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意しているか	28	4			
非常時等の 対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明しているか。また、発生を想定した訓練を実施しているか	19	9		4	特別警報時マニュアル必要。 理解できていない職員もあり、全員周知し保護者に説明できることが望まれる。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	25	6		1	
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	23	7		2	
	㉓	事業所の諸支援は十分されていると思うか	13	14		6	